



ニッセンケンの試験メニューを
世の中のいろいろな話題と自由きままにミックス!



COLUMN 試験担当者のひとり言

お役立ちな独白 2 猫砂って汚いの? 猫砂の材質別生菌数からそれぞれの特性を検証

2025.2.20

世界的に好調な猫トイレ市場

2022 年から 2023 年にかけて、国内ペット市場は各社値上げの中でも、前年度比約 4.5%増の 1 兆 8600 億円程の市場規模となる見込みです。健康意識の高まりから、高付加価値商品であるプレミアム商品、特に猫向け商品で売り上げが増加傾向となっています。

ペット業界は、今いるペットの健康や充実した生活へ要望が細分化・多様化していることもあり、日夜新しい商品が店頭で見ることができます。

私も猫オーナーの一人として、メーカーさんの努力の恩恵にあずかっています。

日々、愛猫に最高のものを提供したいと強く考えるのは全オーナー共通の思いではないでしょうか。多くのオーナーがそうであるように、私も愛猫の充実した生活への投資をいといません。このようなオーナーの思いを受けてか、物価高の中にあっても猫トイレ市場は 2024 年以降も世界的に成長傾向にあります。



猫トイレで重要な猫砂の材質は、紙製や木製、鉱物など種類は多岐にわたります。

中でも、私が特に気になるのは、天然成分配合など素材にこだわったプレミアム猫砂です。

我が家の猫は、鉱物系の猫砂を使用しています。ですが、指の間に挟まっていたり、そのまま部屋で落したり、猫砂を触った手を舐めたり...知り合いの猫は、口に入れてしまうこともあるそうです。

そこで、日々猫の健康について考える私としては、一つの疑問が浮かび上がってきました…。

それは

買ったばかりの猫砂は一見きれいで、素手で触れても問題はなさそうです。
まさか、菌なんていないように見えますが、実際はどうかの？

ということ
にや!

それでは “ 菌はいるの?? いないの?? ” の検証開始！

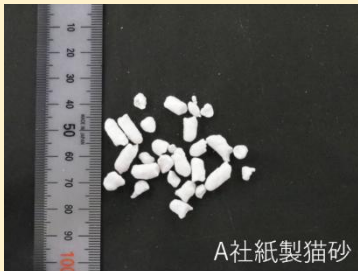
【検証の目的】

買ったばかりの猫砂の菌数について、材質別に検証し、菌の繁殖の有無について考察します。

【材質】

パッケージに抗菌効果の記載のない、紙製・木製・鉱物系の 3 種類について検証します。

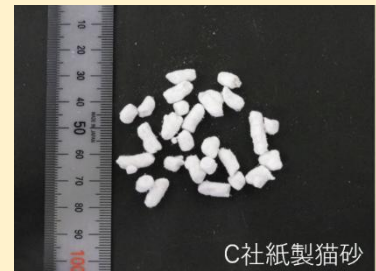
紙製



A社紙製猫砂



B社紙製猫砂



C社紙製猫砂

木製



D社木製猫砂

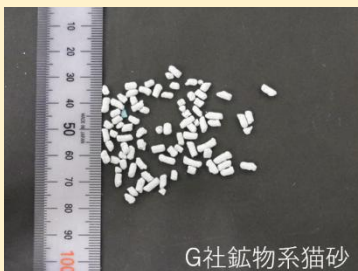


E社木製猫砂

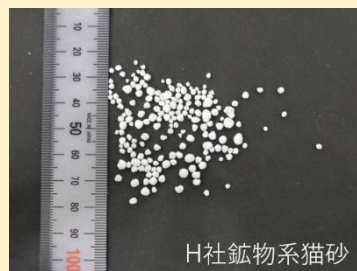


F社木製猫砂

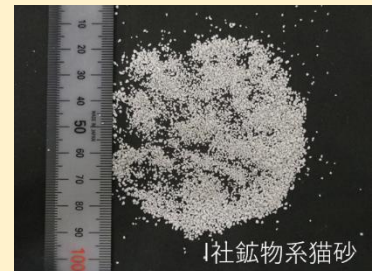
鉱物系



G社鉱物系猫砂



H社鉱物系猫砂



I社鉱物系猫砂

【検証方法】

紙製・木製・鉱物系 3 つの材質から各 3 製品ずつ試料を採取しました。

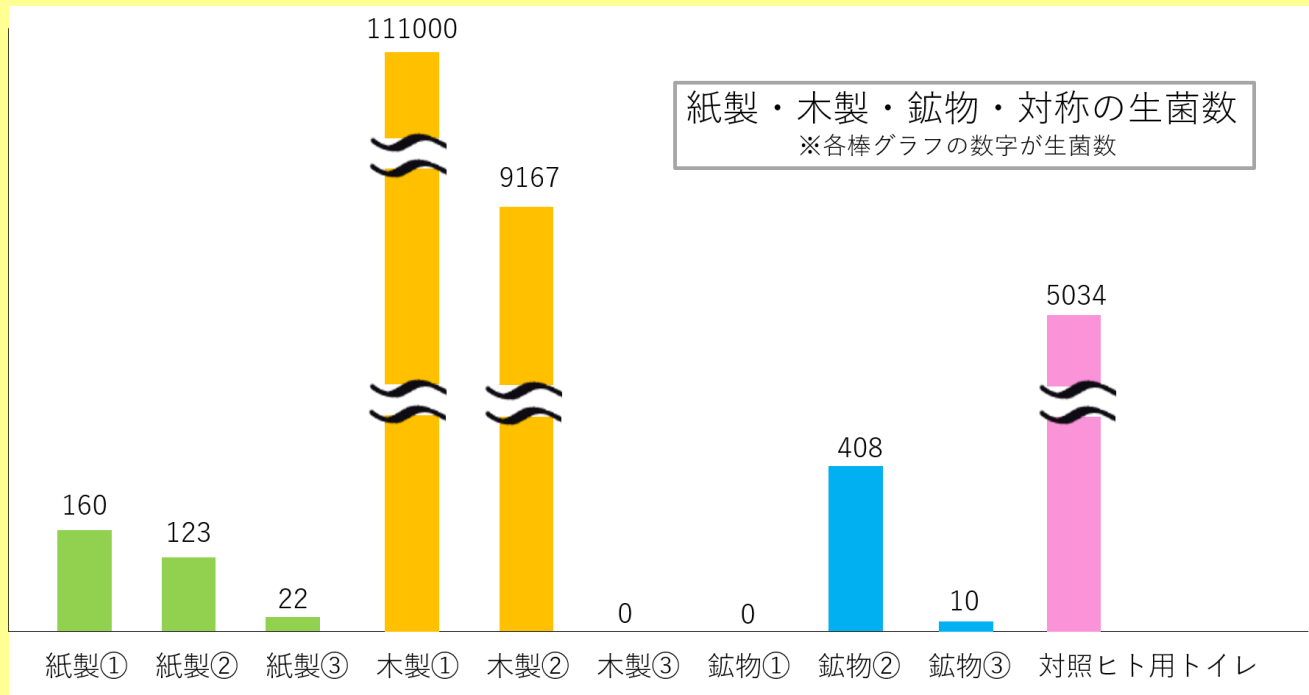
- (1) 1 製品からランダムに 10g 採取します。
- (2) 試料を洗い出します。
- (3) 洗い出し液を細菌とカビの培地にわけて 1 週間培養します。
- (4) 出てきたコロニーをカウントします。

繁殖の度合いは 木製>鋳物系>紙製の順 ～ 繁殖が全くないものも

【結果】

検証結果を 1 結果、すべての材質で細菌の繁殖が見られました。

繁殖の度合いは、木製>鋳物系>紙製の順で多く、木製に多く見られましたが、試料によっては繁殖が全くないものもありました。



鋳物系で案外ばらつきが…

グラフは 3 種類 3 製品と比較対象のヒト用トイレ内生菌数をグラフ化したものです。木製2製品で多くの繁殖が見られました。

紙は製品ごとに似通った生菌数となりましたが、鋳物系では大きくばらつきが見られました。

菌の繁殖には材質ごとに差があり、菌の総量で言えば紙製が 1 番少ない結果となりました。

それぞれのコロニーでは、下写真のように、様々な菌が確認されました。



紙 製



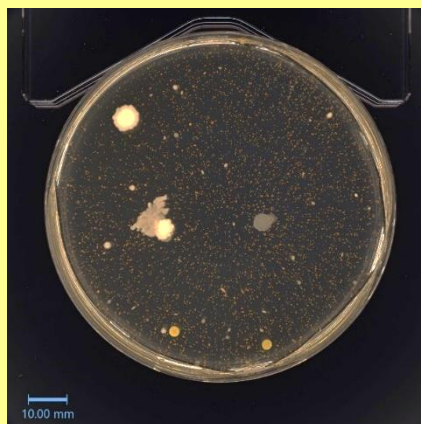
木 製



鋳物系

【参考情報】

比較対照として、ヒト用トイレの菌数と比較しました。1 番菌が繁殖した木製は 1 週間掃除していないヒト用のトイレ便器内よりも菌の繁殖がみられました。ヒト用トイレの菌数より高かったのは木製2製品のみで、他は低い結果でした。



比較対象 トイレ便器内

含有成分によって差がでる？ ～ 評価試験で初めてわかる実態

【考察】

木製で一番菌の繁殖が見られた理由について

- 猫砂生成過程で化学的な処理が少ない。
- 天然素材で菌が育ちやすい。

以上の2点があげられるのではないかと考えられます。今回私が調べたところによると、紙製は、元々木材のセルロース繊維を加工して使用しているものが多いですが、脱色や漂白などの過程で菌がある程度除去されている可能性があります。鉱物系の主成分はベントナイトですが、化学的に加工され、生成されたものが用いられます。

また、木製でも菌の増殖が見られなかった試料があったことについて、フィトンチッドなどに代表される天然成分が逆に菌の増殖を防いだことが原因かもしれません。

今回使用した試料について、多くの菌の増殖が認められました。これは数ある製品のうちの9つですが、それだけでも材質ごとに異なる特徴がありました。

買ったばかりの猫砂について、菌はいるものといないものがあります。それは見ただけではわからず、試験をして初めて結果がわかりました。

様々な猫砂について、今後も自分の愛猫に最適な猫砂探しは続きますが、今回のような菌についての情報を元に選択するのも一つの方法かもしれません。

ニッセンケンでは、猫砂をはじめペット関連の衛生雑貨・製品全般の評価試験に力を入れています。他にも「こんな試験がしたい」「使用状況に即した試験結果が見たい」などアレンジ試験も行っています。

どうぞお気軽にお問い合わせください。親身になって対応をさせていただきます！

ひとりごと執筆担当：ライフ アンド ヘルス事業本部 バイオケミカルグループ同 [ご質問はこちらからどうぞ！](#)